

古典A 漢文 故事成語 「漱石枕流」

解答

- 一 1 世説新語(せせつしんご) 2 劉義慶(りゅうぎけい)
- 3 南北 4 小説 5 逸話
- 6 ①そうせきちんりゅう

意味…負け惜しみの強いこと。無理なこじつけ。

- ②だんちよう 「意味…腸がちぎれるほど激しい悲しみ」
- ③ちくば 「意味…幼友達」

- 二、夏目(一) 本名:金之助 (二) 『吾輩は猫である』

『坊ちゃん』『こころ』『三四郎』など

*理由…自分自身を負け惜しみが強い人間だと思ったから。

- 四、枕・漱 / (一) 「石に枕し流れに漱がんとす(といふ)」
- (二) 「石を枕として眠り、川の流れ(水)でうがいをするつもり

だ(と言う) *隠者:(自然・隠者)

- 五、俗世との交わりを避けて、ひっそりと隠れ住む人。(隠遁者)

- 六、漱・枕 / (一) 「石に漱ぎ流れに枕せん」

(二) 「石でうがいをし、流れを枕しようと思う」

- 七、川の流れ・耳 八、許由の故事・無理やりこじつけようとした
- 九、負け惜しみの強い性格。

- 十、①わかき ②ほつす ③いわく ④くちすすぐ
- ⑤べく(基本形「べし」) ⑥か ⑦ゆえん ⑧みがく

- 十一、「所_レ以_レ枕_レ流、欲_レ洗_二其_一耳。」と

「所_レ以_レ漱_レ石、欲_レ礪_二其_一齒。」

- 十二、(一) 流れは枕すべく、石は漱ぐべきか。

(二) 流れを枕とすることができるのか。(石でうがいをすることができるのか。)

- 十四、*①右 ②漢字 ③左 ④ひらがな

- (一) 当に石に枕し流れに漱がんとすといふべきに
- (二) **当然**、石を枕として眠り、川の流れ(水)でうがいを
するつもりだと言うべきところを

◆◆ 故事成語(その他)

(一) けいせつのこう 「苦勞して勉強に励むこと。」

(二) かんぺき 「欠点がないこと。」

(三) だそく 「余計なもの。不要なもの。」

(四) すいぎよのまじわり 「切っても切れない親しい関係。」

(五) はいすいのじん 「追い詰められて後がないこと。」

(六) たいきばんせい 「大物は後になって成功すること。」

(七) ごじつぽひやつぽ 「大差がないこと。」

(八) おんこちしん 「昔のことを学んで、そこから新しい知識

や見解を導くこと。」

(九) せつさたくま 「互いに励まし合って向上すること。」

(一〇) むじゅん 「つじつまが合わないこと。」

(一一) はてんこう 「今まで誰もしなかった事を初めてすること。」

(一二) げきりん にふれる 「目上の人を激しく怒らせてしまうこと」